

協働事業の提案支援モデル事業の最終報告について

令和元年度協働事業の提案支援モデル事業に採択された3団体は、横浜市と協働契約を締結して、それぞれのテーマのもと、様々な取組を行ってまいりました。

3団体の主な取組について報告します。

1 特定非営利活動法人 肺がん患者の会ワンステップ

～学校でのがん教育に向けたがん患者外部講師の育成モデル事業～

がん教育は2017年に中学校学習指導要領に明記され、2021年より全国実施となります。がん患者が学校で外部講師としてがん教育を行えるよう、他のがん患者団体と連携しながら講師希望者の募集、外部講師研修等により、がん患者やがん教育に興味のある方の学校教壇でのがん教育スキルの向上を図りました。

●外部講師研修

〔第1回目概要〕

〔対象〕 がん経験者やご家族等ががん教育に携わっている方、学校教諭、医療者、保護者、行政担当など

- ・10月5日（土）9時30分～15時40分 横浜関内ビル3階A会議室

講演、パネルディスカッション、模擬授業、終了後に患者外部講師希望者による意見交換等。

- ・10月20日（日）9時30分～16時40分 横浜関内ビル3階A会議室

ワークショップ、意見交換等。

- ・11月4日（月・祝）9時30分～16:00 横浜関内ビル3階A会議室

外部講師希望者による模擬授業（参加者全員の前で20分経験談を話し、フィードバックをもらう）

- ・11月9日（土）9時30分～16:00 横浜関内ビル3階B会議室

外部講師希望者による模擬授業（参加者全員の前で20分経験談を話し、フィードバックをもらう）

〔第2回目概要〕 ※コロナウィルス感染拡大防止対策により、中止

〔対象〕 第1回目の研修を受けた外部講師希望者（第1回目の研修内容をさらにブラッシュアップさせる目的）、学校教諭、医療者、保護者、行政担当など

- ・3月8日（日）10時00分～16時30分 リスト関内ビル4階会議室

講演、パネルディスカッション、模擬授業、終了後に患者外部講師希望者による意見交換等。

- ・3月14日（土）10時00分～16時40分 リスト関内ビル4階会議室

話し方講座、模擬授業、終了後に患者外部講師希望者による意見交換等。

行政関連課：教育委員会事務局健康教育課、市民局市民活動支援課

2 NPO法人のはらネットワーク ～ちょこっと子育てレスキュー隊～

乳幼児期の子育て支援の課題を区内（都筑区）の支援者と共有し、今ある資源を最大限に生かして、地域における切れ目のない支援を目指しています。

緊急性の高い子育て当事者の「困った」（主に預かりニーズ）に対して地域のネットワークの中で解決できる仕組みづくりと、モデル地区を設定した乳幼児の出張一時預かりを実施しました。

●講演会～子育て支援に関わる方へ～

- ・0歳児支援の大切さ（9月27日（金）14:00～16:00、都筑区役所1階福祉保健センター）
〔講師〕永田陽子氏（東京都北区子育て支援センター専門相談員・臨床心理士）
〔内容〕今、虐待防止の視点からも、「愛着形成」が注目されています。愛着形成は、誕生直後、0歳児からスタートしています。0歳児のことを子育て支援者がもう一度学びなおして、保護者にも伝えていくための講演会です。
- ・今を知ろう 子育て支援者のための『乳幼児とスマホのちょうどいい付き合い方』
（1月23日（木）10:00～12:15、かけはし都筑 多目的室）
〔講師〕古野陽一氏（NPO法人子どもとメディア 常務理事）
〔内容〕今や、乳児期からスマホのちからを借りて育児をしていく時代になっています。子どもや、親、親子関係への影響やどうこの状況に関わっていけばよいかを学ぶための講演会です。
- ・一時預かりサポーターふりかえり講座
（1月21日（火）10:00～12:15、かけはし都筑 多目的室）
〔講師〕一時預かり保育室 さんぼ保育士 伊藤久美子・燕昇司知里
〔内容〕モデル地区の出張一時預かりにサポーターとしてかかわってくださった方々と共に、楽しかったことや難しいと感じたことなどをふりかえり、来年度以降の一時預かりにつなげていくための講演会です。

●地域の子育て支援を考えるフォーラム（予定）

～これからの子育て支援 地域で何ができるだろう～

（3月26日（木）14:00～16:00、かけはし都筑 多目的室）

〔プログラム〕・ちょこっと子育てレスキュー隊 2019 活動報告

・フォーラム ～これからの子育て支援 地域で何ができるだろう～

〔ファシリテーター〕永田陽子氏（東京都北区子育て支援センター専門相談員・臨床心理士）

〔登壇者〕大熊町内会長 斎藤氏、平台町内会長 石井氏、

都筑区主任児童委員会 木村博子氏、

〔内容〕ちょこっと子育てレスキュー隊の2019年度の活動を振り返るとともに、活動にご協力をいただいた2名の町内会長をお招きし、これからの子育て支援について地域の目線からお話いただき、これからの地域での子育て支援について考えていく

ためのフォーラムです。

●モデル地区の出張一時預かり～既存の施設を利用しづらい人に向けての一時預かり～

- ・9月～12月の毎週水曜日(計15回※11/6除く)、9時～12時(10月30日のみ13時～16時実施) 大熊町公民館(都筑区大熊町497)

●北部療育センターに通う方のきょうだい児の出張一時預かり

～親子で療育センターに通う方のきょうだい児の一時預かりを実施～

- ・9月～12月の火曜日(計12回)、9時～12時30分 平台町内会館(都筑区平台25-6)
(9/3, 10/3, 10/10, 10/17, 10/24, 11/5, 11/12, 11/19, 11/26, 12/11, 12/18)

行政関連課：都筑区こども家庭支援課、市民局市民活動支援課

3 てんでんこプロジェクト(金沢区災害ボランティアネットワーク)

～地域の子ども・青少年の防災力向上のための事業～

自然災害で地域の子どもの犠牲者を一人も出さないため、子どもを中心とした防災教育を行うことで、子どもの防災力向上と、支える大人の意識向上を図りました。小学生やその保護者向けの防災スクールの実施、教員・保護者・幼稚園保育園職員・乳幼児子育て中の保護者向けの講演会の開催、小中学校・高等学校・地域(自治会町内会・マンション管理組合・子育てサークル等)への出前防災教室を実施しました。

●こどもぼうさいスクール～友だちをつくりながら、楽しく防災を学ぼう！～

- ・防災ゲームの学校(4月29日(日)、横浜市野島青少年研修センター)41名参加
小学生対象、防災紙芝居、簡易トイレの組み立て競争、災害で生き残るワーク学習
- ・防災料理と救急法教室(7月6日(金)、横浜市野島青少年研修センター)26名参加
じゃがりこで作るカレーライスと簡単スープ、身近なものを使った防災救急法
- ・防災遠足(10月14日(月・祝)、横浜市野島青少年研修センター)23名参加
身近な防災に役立つ場所を探しながら、遠足で楽しく回ります。自分のまちをいろいろ調べて詳しくなろう！
- ・防災キャンプ(1月25日(土)～26日(日)、横浜市野島青少年研修センター)19名参加
子どもたちだけで避難所を作ってみる宿泊体験。これまで学んできたことを復習しながら楽しく学ぶ。

●ママパパぼうさいcafé ～お子様もぜひ一緒に、楽しく防災を学ぼう！～

- ・災害の話と調理実習(5月2日(木)、横浜市野島青少年研修センター)33名参加
液化化災害の体験談、断水時のためのトイレの作り方、ジップロックで炊くご飯づくり

- ・防災料理と救急法教室（8月23日（金）、横浜市野島青少年研修センター）26名参加
ジップロックで作る防災パスタ&スープ、救急法体験、防災ワーク

●スキルアップ防災セミナー

- ・親子防災&アウトドアスキルアップセミナー（11月4日（土）、横浜市野島青少年研修センター）37名参加
- ・NHKワークショップキャラバン「わが町のインクルーシブ防災」（12月8日（土）、関東学院大学金沢文庫キャンパス）32名参加
- ・てんでんこ競争（1月13日（月・祝）、横浜市野島青少年研修センター）
東日本大震災から学んだ「津波が来たらすぐ高台に逃げることを」を教訓に、野島山の坂を駆け上がり、今年一番の福男と福女を決める決定戦！80名参加

●地域協力

- ・葉山町災害ボランティアネットワーク総会で講演（6月2日（土））
- ・①フォーラム KANAZAWA ワークショップ・紙芝居（11月16日（金））約100名参加
②南区はまっこキッズ連絡協議会 KIDSBOUSAI ワークショップ 約150名参加
- ・瀬ヶ崎小学校地域防災拠点訓練 児童向け授業プログラム協力 約300人参加

●その他

- ・協力小学校：12校、中学校：5校、高等学校：1校
- ・公私合同保育園円協会に出席し協力保育園募集（4月26日（木））。協力保育園：21
- ・定例会及びキャンプを毎月定例的に実施
- ・てんでんこニュース第四号、11月作成5,000部発行

行政関連課：金沢区地域振興課・総務課・こども家庭支援課、市民局市民活動支援課